

豊島区立鈴木信太郎記念館条例について

1 建物等

■所在地	豊島区東池袋5丁目5番3号
■土地	宅地 595.04㎡
■建物	木造、一部鉄筋コンクリート造2階建て 床面積296.46㎡

(仮称)鈴木信太郎記念館位置図



2 区民への公開の意義

- 旧鈴木信太郎邸は、明治・昭和初期・戦後の異なる三棟が同一敷地に存在し、時代の変化、家族構成の変化に対応しながら、生活と住まいが維持されてきたことを示す建築遺構である。
- 大正10年にこの地に新居を構え、それ以降の増改築等の工事設計図書等の資料が現存しており、近代住宅研究において極めて貴重である。
- 施主の鈴木信太郎氏は、我が国フランス文学の草創期を確立したフランス文学者である。
- 長男の鈴木成文氏は我が国の戦後の住居学に大きな影響を与えた建築学者であり、豊島区再開発基本計画審議会委員も務めた。
- 本物件の寄贈者である次男の鈴木道彦氏は、父信太郎氏と同じくフランス文学者として活躍されている。
- 我が国の近現代史に名を残す著名な学者の住まいとしても極めて貴重であり、豊島区の地域史研究にとっても意義がある。

3 条例の概要

(1) 目的及び設置（第1条関係）

フランス文学者である鈴木信太郎の足跡や鈴木家における学術研究の功績を広く区民に伝えるとともに、日本の近代住宅史において価値を有する建築遺構を、区の文化財として保存・活用し、もって郷土文化の発展に寄与することを目的として、豊島区立鈴木信太郎記念館を設置する。

(2) 記念館の位置（第2条関係）

記念館の位置：豊島区東池袋五丁目5番3号

(3) 事業（第3条関係）

設置の目的を達成するため次の事業を行う。

- ① 鈴木信太郎をはじめ鈴木家に関わる人物、フランス文学及び建築に関する資料の収集、保管、研究及び展示に関する事業
- ② 記念館の施設及び設備の適切な保存
- ③ 資料に関する必要な説明、助言、指導等
- ④ 資料に関する講座等の開催
- ⑤ 関係団体との連携・協働
- ⑥ その他、区長が特に必要と認めること

(4) 利用の制限（第4条関係）

次のいずれかに該当するときは、入館を禁じ、又は退館させることができる。

- ① 秩序又は風紀を乱す恐れがあると認められるとき
- ② 管理上支障があると認められるとき
- ③ 上記のほか、区長が特に必要があると認めるとき

(5) 使用料（第5条関係）

記念館の利用については、無料とする。

(6) 損害賠償（第6条関係）

施設又は資料に自己の責に帰すべき理由により損害を与えた者は、その損害を賠償しなければならない。ただし、区長は、やむを得ない理由があると認めるときは、その額を減額又は免除することができる。

(7) 委任（第7条関係）

この条例の施行について必要な事項は、規則で定める。

施行規則（案）

◆ 施設の構成

記念館の施設は、展示室、事務室、研究・作業室とする。

◆ 開館時間

午前9時から午後4時30分

◆ 休館日

月曜日（祝日と重なる場合はその翌日も）、第3日曜日、祝日、年末年始、展示替え等による臨時休館

※郷土資料館の休館日・開館時間と同じとする予定

4 施行日 公布の日

※一般公開：平成30年3月28日を予定

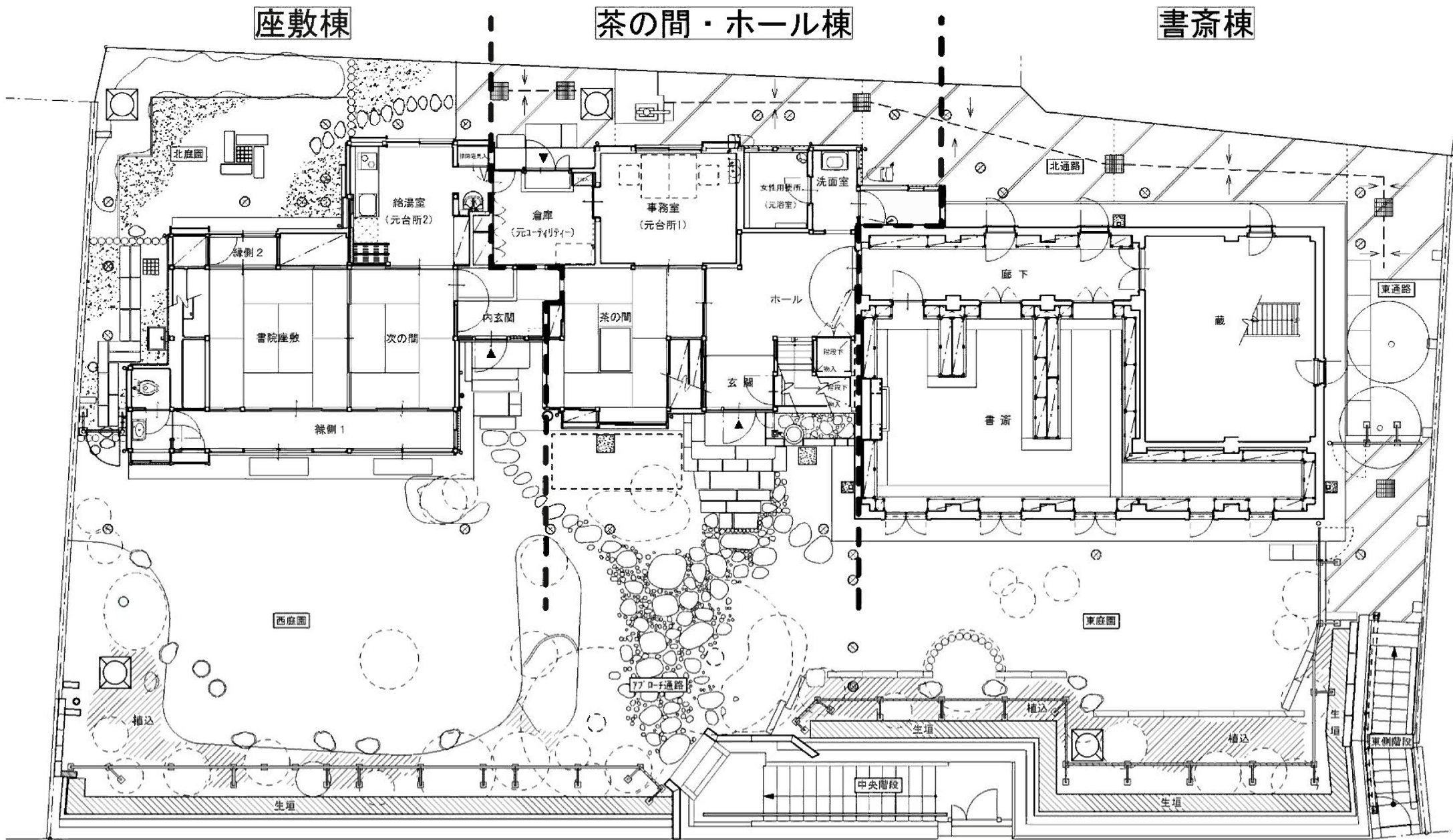
■これまでの経緯

本物件の寄贈を受け文化財指定までの経緯と公開に向けた準備状況は次のとおりである。

平成21年度	当時の居住者である鈴木成文氏（鈴木信太郎長男）より国登録有形文化財に登録したい旨申し出を受ける。（3月） 区文化財保護審議会関係者による現地調査（4月） 鈴木成文氏より将来的には豊島区へ寄贈したい旨の書簡を受領（11月）
平成22年度	鈴木成文氏急逝、国登録有形文化財の登録の手続き凍結（3月） 鈴木道彦氏（鈴木信太郎次男）区長と面談、改めて区へ寄贈の意思を表明 鈴木道彦氏より寄附申込書を正式に受領（7月23日） 負担付贈与契約締結（11月18日）
平成23年度	豊島区登録有形文化財（建造物）として告示 文化財指定のための建物調査
平成24年度	豊島区指定有形文化財（建造物）として告示 建物公開に向けた基本設計 所蔵する書画骨董資料・住宅関連資料調査 住宅内展示手法調査
平成25年度	公開に向けた建物保存改修工事実施設計、 蔵書資料調査 建築資料調査 擁壁調査 生涯学習指導員の採用 近隣への説明会（11月14日）
平成26年度	南側擁壁セットバックに関する検討 擁壁追加調査 レプリカ製作 蔵書等資料調査 生涯学習指導員の採用
平成27年度	公開に向けた建物保存改修工事実施設計見直し レプリカ製作 写真デジタルデータ化 書籍クリーニング
平成28年度	展示実施設計、 測量及び一部境界確定 建物保存改修工事開始（29年1月から）
平成29年度	建物保存改修工事 展示製作施工 平成30年3月28日一般公開（予定）

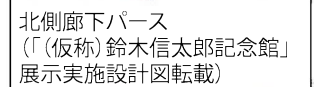
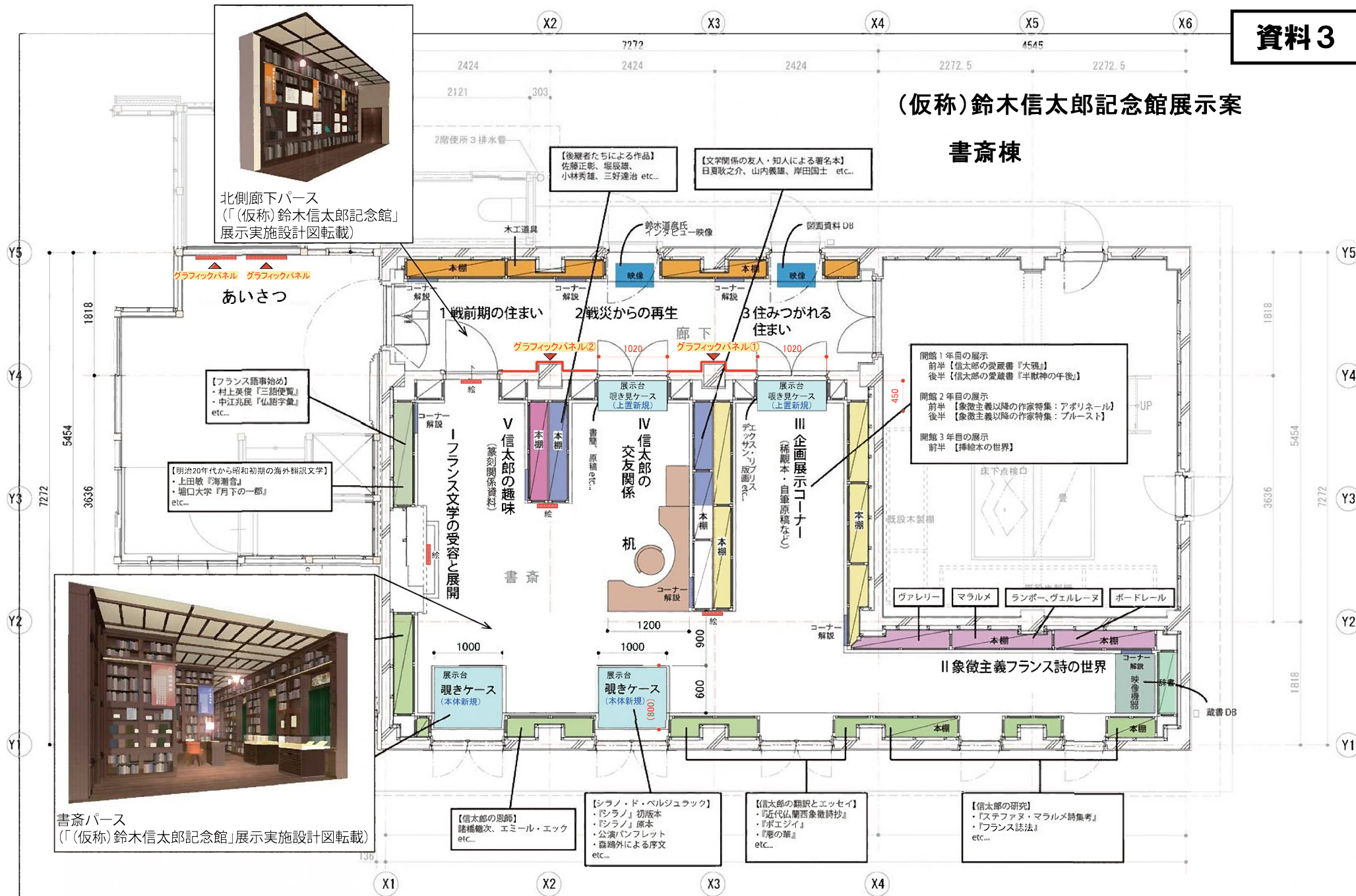
(仮称) 鈴木信太郎記念館全体図

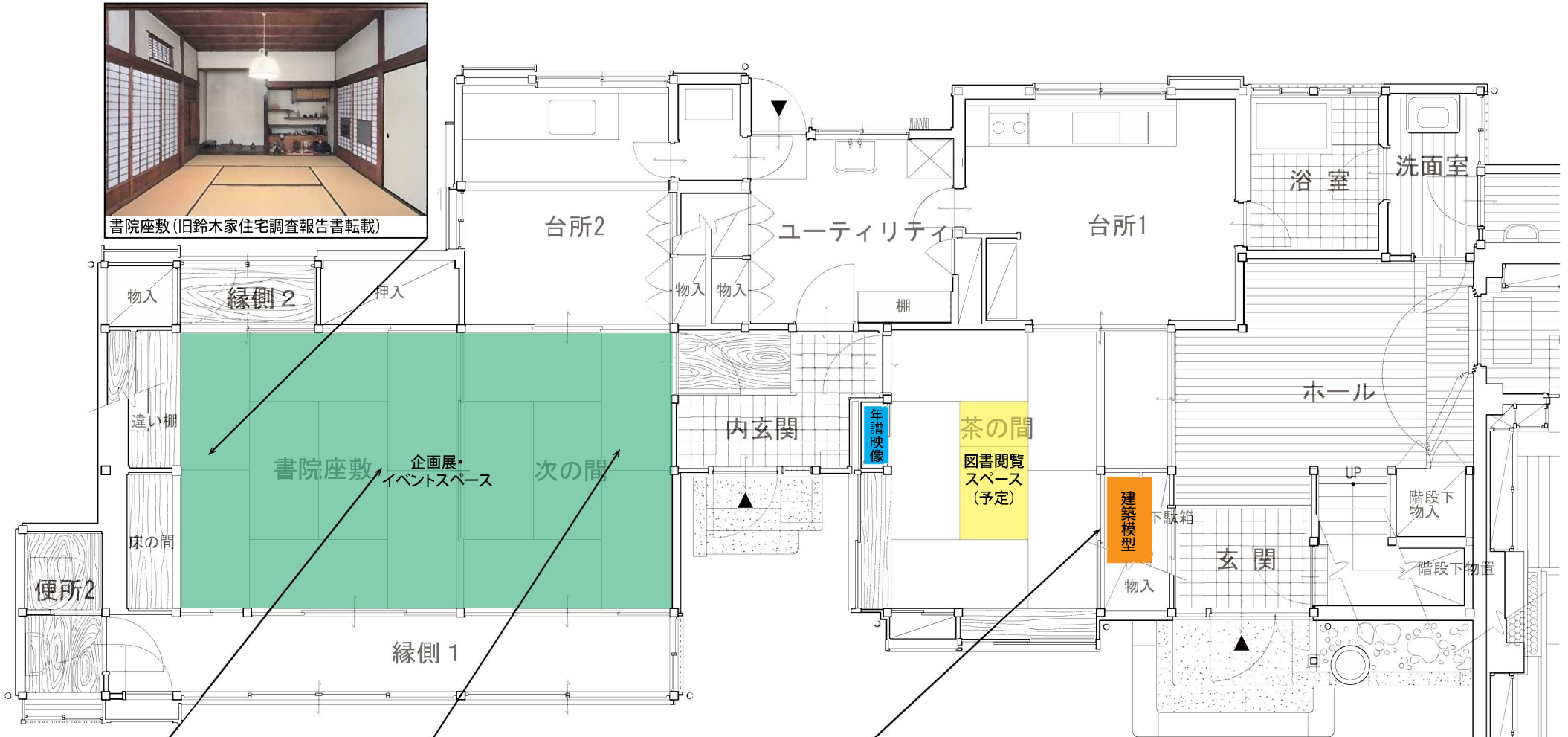
資料2



(仮称) 鈴木信太郎記念館展示案

書斎棟





建物そのものを見てもらう展示。
企画展・イベント等の際に使用する。



次の間 (旧鈴木家住宅調査報告書転載)

戦前期の木造母屋と書斎棟の復元模型を展示



鈴木信太郎記念館 教育普及事業のスケジュール（案）

2年目以降
（下記のイベントや講演の中から、4～5つを選択し、実施していく）

項目	内容	2018年 3月	2019年												2020年														
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
展示プラン	書斎棟、特別展示コーナー		信太郎の愛蔵書『大鴉』						信太郎の愛蔵書『半獣神の午後』																			
	座敷棟での特別展・企画展															
解説	ギャラリートーク		週に1回、30分																	月に1回、30分								
イベント	講演会と見学会	鈴木信太郎	<p>講師：鈴木道彦氏（仮） 講師：大平秀和氏（伝統技法研究会）（仮） 会場：地域文化創造館、記念館ツアー</p> <p>★</p>												<p>鈴木信太郎没後50年イベント（2020年） 鈴木信太郎記念館開設5周年記念イベント（2023年） 鈴木信太郎生誕130年記念イベント（2025年） 鈴木信太郎記念館開設10周年記念イベント（2028年） ※そのほか、マラルメ、ヴァレリー、ボードレール、プルーストの生誕・没後●年を記念するイベントなど。</p>														
			<p>担当：学芸スタッフ 会場：地域文化創造館</p>																										
講座・ワークショップ	一般向け講座		<p>講師：内田青蔵氏（神奈川大学教授）（仮） 会場：地域文化創造館</p> <p>（ミュージアム講座） （文化財ウィーク）</p>												<p>・鈴木信太郎の交友関係、「鈴木信太郎の愛蔵書」、「旧鈴木家住宅の特徴と軌跡」など （担当：講師依頼または学芸スタッフ、会場：地域文化創造館）</p>														
	大人向けワークショップ／朗読会		<p>「ステンドグラスをつくってみよう」 担当：学芸スタッフ 会場：書院座敷（記念館）</p> <p>★</p>												<p>・「篆刻に挑戦してみよう」、「本の装幀に挑戦してみよう」、「蔵書印を作ってみよう」、「ステンドグラスをつくってみよう」など（担当：講師依頼または学芸スタッフ、会場：書院座敷） ・詩の朗読会（担当：講師依頼、会場：書院座敷）</p>														
	子ども・親子向けワークショップ		<p>★</p>												<p>・「詩を書いてみよう」、「しおりを作ろう」など（担当：講師依頼、会場：記念館の書院座敷）</p>														
国際交流・地域交流	大使館や日仏会館との提携事業														フランス語講座や、フランス発の文化、思想、学問を発信している、フランス政府の公式機関であるアンスティチュ・フランセが主催する、芸術・文化イベントと連携した事業を検討していく。														
	フランスの芸術・文化を紹介するイベントの実施		<p>フランス人落語家による落語の口演 口演者：尻流複写ニ（シリル・コピーニ）氏（仮） 会場：記念館（書院座敷）</p> <p>★</p>												<p>・『半獣神の午後』の朗読と演奏（担当：講師依頼、会場：南大塚ホール） ・フランスの季節のイベント（クリスマス、バレンタインデー など）に関連したワークショップ（担当：学芸スタッフ、会場：書院座敷、庭園）</p>														
	日本の芸術・文化を紹介するイベントの実施														<p>・日本の季節のイベント（七夕、ひな祭り など）に関連した、記念館が主催するワークショップ（担当：学芸スタッフ、会場：書院座敷、庭園） ・茶道や華道の体験イベント（担当：講師依頼、会場：書院座敷）</p>														
情報提供	郷土資料館と連携したイベント														<p>・「蚊帳をつくってみよう」などの、郷土資料館と記念館が合同で主催するワークショップ（担当：学芸スタッフ、会場：書院座敷）</p>														
	一般向け図録、子供向け小冊子の制作・配布		制作												配布														
	インターネットによる情報の発信																											
	展示作品のデータベース化と公開																											
情報提供	「記念館だより」の配布													★									★					
	貴重書・資料の閲覧対応																											